

## 事業完了報告書

### 調査研究期間等

調査研究期間	令和3年7月1日 ~ 令和4年3月15日
調査研究事項	夜間中学における教育活動充実に係る調査研究
調査研究のねらい	<ol style="list-style-type: none"><li>1 外国籍生徒の学習活動に有効なICT等の教材・教具を活用した効果的な教育活動について研究する。</li><li>2 SC等の外部人材等を活用した、より効果的な教育活動について研究する。</li><li>3 日本語学級のない本校において、効果的な日本語指導を行い、各教科における授業力と教育相談の向上について研究する。</li></ol>
調査研究の成果	<p>上記のねらいを達成するため、本年度は教員研修と教育相談を柱に次のような取組を行い、実践に結びつけた。</p> <p>(1) 本年度の取組について</p> <p>①学習活動に関する研修</p> <p>11月にお茶の水女子大学付属中学校教諭 藤原大樹 氏を招聘し、指導改善と学習改善が結びつく授業を念頭に置いた研修を行った。「学習評価とは何か」「学習の質の上げ方」「ICTを活用した指導と評価」等について意見交換をした。</p> <p>②教育相談</p> <p>7月と12月の計3回、東京都のスクールカウンセラーである大野由美子 氏による1対1の全員面接を行い、個々の生徒が抱えている人間関係や自分自身の能力に関する悩み、これまでの人生におけるトラウマ等の状態を理解し、生徒一人一人に寄り添いながら「学び直し」を支援する方策について意見交換した。</p> <p>③日本語指導に関する研修</p> <p>10月に世田谷区立三宿中学校夜間学級時間講師 青山マリ子 氏を招聘し、教科指導の基盤となる日本語の指導方法と有効な教材について、事例に基づく演習を行いながら指導方法の留意点について意見交換をした。</p> <p>12月にエベレストインターナショナルジャパンの日本語講師 伊藤稲子 氏と 柴沼圭子 氏を招聘し、年間を通して入学してくる外国籍生徒に対して、早期の日本語習得を可能にする指導方法や教材について学んだ。また、日本語指導における共通の悩みや課題、成果について事例を交えながら意見交換をした。</p> <p>④授業の実践</p>

	<p>研修や多様な授業実践を基に、「学習内容の組立て」「力を伸ばす評価方法」「教材の精選」等を念頭に置いた授業を実践し、分かりやすい授業づくりに結びつけることができた。</p> <p>(2) 改善充実の成果について</p> <p>多面的な研修により、教科指導や日本語指導に自信をもって指導できるようになり、効果的な学習指導や生活指導に結びつけることができた。その結果、生徒一人一人の課題を見つめながら、生徒への学習支援の充実を図ることができた。</p>
--	--